

課題改善カリキュラム【 国語科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題 ①書くことで個人差が大きい②論理立てて書けない ③書き方がわからない		研究テーマ 自分の思いや考えを文章で書き表すことができる児童・生徒の育成 ～書くこと(取材と構成)の指導法の工夫・改善について～	
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点
中学校	3年	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読み、自分の意見や考えをもつために、新聞記事などを利用する。 説得力のある文章を書くために、考えの根拠をあげメモを作る。 わかりやすい文章を書くために、構成を考え、構成メモの活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> よい文章にふれ、資料の引用など論理の展開を工夫して、説得力のある文章を書かせる。
	2年	<ul style="list-style-type: none"> 社会的視野を養うために、新聞等を読ませ、その中から作文に使う記事を選ばせる。 自分の意見を説得力のあるものにするために、自分の体験等から具体例を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や意見の記述において、説明や具体例を工夫することで、相手に効果的に伝わる文章を書く努力をさせる。
	1年	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中からは課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 入手した情報、自分の考えや意見について、整理したり取捨選択することで、相手に伝わる文章としてまとめさせる。
小学校	6年	<ul style="list-style-type: none"> 書く事柄を収集するため、図書資料や新聞を活用する。 事柄を整理するために、短冊や付箋、作文カードを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材から関心をもたせ、モデル文を読み比べ活用させることで、自分の考えを明確に表現させる。
	5年	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができる。 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文の読み比べやグループでの話し合いをする。
	4年	<ul style="list-style-type: none"> 書くために必要な事柄を調べるために、本や辞典の活用、身近な人へのインタビューの話形の提示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を提示し文章構成を分析することで、段落の役割を理解し文章構成する力をつけさせる。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> 段落の役割を理解するために、例文の提示や分析をする。 	
	2年	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序に沿って書けるようにするために、パターンの提示をし、ワークシートの工夫やふきだしの活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読や読書の時間を意図的に設定することで語彙力や文章表現を豊かにさせる。 書き方の提示やゲーム活動様々な例文にふれることで文章構成をする力をつけさせる。
1年	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書くこととする題材に必要な事柄を集めることができる。 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 		